



第17號

發行所 郡田民館  
愛知縣額田郡  
幸田村公所  
岡崎活版所  
岡崎市龍田町五一

待望の講和條約

A 日本の講和條約がもうすぐで  
きるそうですが？

B そうだ。もう  
すぐだ。そして今度  
の戦争が正式に終り  
になる。

A でも戦争は六  
年前におしまいな  
つたのでしよう。

B うん。日本は  
あの時「降参します  
」といつた。それで  
それからずつと連合  
國に占領されてい  
た。講和條約ができ  
て、戦争の後始末を  
する迄は、まだほん  
とくに戦争がおしま  
いになつたことには  
ならないのだ。

A 日本と一しよ  
に連合國と戦つたド  
イツやイタリヤはも  
う講和條約はできた

の？

B イタリヤはもう四年前にでき  
たけれど、ドイツはまだできない。  
よくそんな古いことを知つていたね  
ドイツが戦争を始めたのは十二年も  
前のことだよ。イタリヤは十一年、  
日本は十年前の十二月八日だつた。  
だから、今満十一才の小學生がオキ  
ヤアオギヤアと泣いていた頃に始ま  
つたのだよ。それがやつと正式にお  
しまいになるのだ。

A その講和條約はどういうふう  
にして作るの？

B 九月三日から七日までアメリ  
カのサンフランシスコのオペラハウ  
スで講和會議を開いて、日本と戦争  
した國々の代表が集つて、講和條約  
を書いたものに調印する。調印とい  
うのは各國の代表が自分の名前を書  
きこむことだ。日本と戦争した國は  
十五ヶ國ある。

A アメリカや中國の他にどんな  
國があるの？

A 中國は二つに割れているから

今度の講和會議に入つていないのだ  
よ。それで、アメリカのほかはイギ  
リス、カナダ、ソ連、フランス、オ  
ーストリア、ベルマ、セイロン、イ  
ンド、インドネシア、オランダ、ニ  
ュージランド、パキスタン、フィリ  
ピン、の十四ヶ國だ。

A それで、もう講和條約はでき  
上るの？

B そうだ講和條約はでき上るけ  
れども、これだけではまだ役に立た  
ない。この條約に調印した國々の半  
分以上が、それを批准しなければら  
なぬ。國と國との條約というものは  
各國の代表が調印してきた條約を各  
國の主權者が「これでよろしい」と  
いわなければ、どんな條約でもほん  
とどの役に立たない事になつてい  
る。ところで今度の日本の講和條約  
は、十四ヶ國全部が調印した時には  
その半分以上つまり七ヶ國以上と日  
本とが批准しなければならぬ。

A その批准はいつするの？

B 調印が終つてから、まあ半年  
から一年近くかかる。だから九月七  
日に調印しても、ほんとうに役に立  
つのは來年の夏頃になるだろう。

A 講和條約で日本は色々の島を  
とられるの？

B 今まで戦争していた朝鮮も獨  
立して日本から離れてしまつたね。  
その他台湾も南樺太も千島列島も沖  
繩も皆もう日本の領土ではなくなつ  
た。講和條約では北緯二十九度線か  
ら南の琉球列島や小笠原島、南鳥島  
等をアメリカが治める事にきめた。

これらの島に住んでいる人たちは、  
講和條約でまた元のようになつてし  
てほしいと思つていたけれどだめに  
なつた。日本は負けたのだから、連  
合國のきめる通りにするよりしかた  
がないだろう。

A では講和條約ができたら、又  
平和になるから、私たち日本人も世  
界中の國々へ行つたり、又外國と品  
物を賣つたり買つたりすることがで  
きるようになるでしょう。

B それはできないといいたいが、  
講和條約を結ばない國とはだめだ。  
日本は平和になつても世界全体がま  
だ本當の平和になつていないから



- 全編名簿
- 全編 吉田茂(首相)
  - 全編 池田勇人(政府代表)
  - 全編 星島二郎(自由黨代表)
  - 全編 徳川宗敬(緑風會代表)
  - 全編 一萬田尙登(民間代表)

幸田村農業委員名簿 (七月二十一日)

氏名	生年月日	年令	住	所	耕作反別	届出日時
岩瀬 佐一郎	明治30年8月26日	五三	深溝字天王山二九	〇反	八畝	七月九日
谷川 八郎	〃	四二	高力字熊谷四七	〇反	〇畝	〃
河井 正	〃	四八	深溝字日向山二六	〇反	〇畝	〃
浅井 興市	〃	四八	菱池字山ノ郷四一	〇反	〇畝	〃
山田 俊彦	〃	四四	芦谷字南屋敷二三	〇反	〇畝	〃
山本 文太郎	〃	四三	大草字北前田七	〇反	〇畝	〃
山本 正夫	〃	四三	大草字寺西五一	〇反	〇畝	〃
本田 基爾	〃	四一	長嶺字北郷中二八	〇反	〇畝	〃
小野 宗重	〃	五五	久保田字柴崎四七	〇反	〇畝	〃
稲吉 一郎	〃	五五	久保田字柴崎四七	〇反	〇畝	〃
小林 岩夫	大正4年4月10日	三六	坂崎字形添八	〇反	〇畝	〃
神本 徳市	〃	三八	深溝字上池田一三	〇反	〇畝	〃
本多 伴吉	〃	三二	菱池字新田三二	〇反	〇畝	〃
本下 万作	〃	四二	菱池字寺西二二	〇反	〇畝	〃
幸次 武夫	〃	四九	萩字玖七二	〇反	〇畝	〃

村長選任による委員(学識経験者)

氏名	浅井 三津治
山本 住次郎	小玉 五郎
貝吹 信次	伊藤 誠一

夏季文化講座

日時 八月二十三日九時より十七時  
 会場 幸田村公民館  
 講師 大谷大教授 岩見護師  
 講題 現代生活と宗教 長谷部ひろ女師  
 生活改善 長谷部女史  
 レクリエーション 舞踊(昼食時)  
 討論會 (最後)  
 幸田村佛教會

農協運営の愚見

大草農協 山本 正夫

農業協同組合の育成強化を図るためには農協自身の合理的経営にまたねばならぬ事はいうまでもない。

農業協同組合が組合員によつて作られたものであり組合員の経済的地位の向上が農協終局の目的である以上農協の事業は凡て組合員の利益にかならなければならぬ。組合員がよくなり組合員をよくする事こそ農協をよくし農協がよくなる事である。

終戦後インフレの波にのつて國民貯蓄の五四%が農民の手に握られていたが二十三年度末を以て二十五年末に僅かに一二%に減少した。

一方食糧の増産と外國事情の好轉によつて食糧統制の枠が途次はずされ間價格の低落と相まつて著しい農家所得の減少を見るに到つた。他面農業資材の昂騰就中肥料の値上り等によつて農家経済は益々苦しくなりつゝある。

現実に農村恐慌が來たのである。世界農業と自力を以て謙でも互して行かねばならぬ端目に立たされたのである。輸入小麦や輸入大豆による影響の甚大さに今後の農村はいかに

進むべきかについて眞剣に考へずにはおられない。宿命的な日本農業農民の生きて行く道は農協の生きて行く道である。

小さい力の結集である農協を中心に、一日も早く生産体制の確立を急がなければならぬ、農家の収入を増す道こそ生産の増強と市場性の把握による有利な販賣以外にない。

生産増強とは米麥畜産園藝を多角的合理的に組合せ収入増の方途を講ずることである、農協自体も組合員の生産を高め販賣成績を上げる事によつて貯金の増加を來たす。

農協は販賣事業を中心に信用事業購買事業その他の事業の結びつきを考へるべきである、貯金吸收と購買事業は二つの矛盾した面があるが販賣事業を農協の中心事業と考へる時購買事業の意義が成立ち販賣の裏付として信用事業が成立つ。利用加工の面に於ても同じ考へで農家経済にかながるものでなければならぬ。

最低の生産費による最高の生産、努力配分を考へた合理的経営、小さな力の結集を大なるものえ、生産品の品種統一と品質の向上、市場性の把握と共同販賣、強力な指導体制の確立等を考究すべき問題は山積している。

昭和二十五年産菜種品種比較試験成績表		昭和二十六年産菜種品種比較試験成績表	
品種名	石當收量	播種月日	試 期
農林六號	一石三五九	九月一日	五月二九日頃
農林九號	一、一六二	九月一日	五月二九日頃
伊勢無	一、四六二	九月一日	六月二日頃
近畿十四號	八、一五九	九月一日	五月二七日頃
近畿二五號	一、二四六	九月一日	五月三〇日頃
農林三二號	一、三八七	九月一日	五月三〇日頃

昭和二十六年度春馬鈴薯田畑別、堀取期別坪堀りによる成績表	
品種名	坪當收量
農林六八號	三四三
六四號	三四四
近畿五四號	二五八
農林五三號	四〇四
三〇號	三五〇
九號	二〇七
さつき	三六七
農林七二號	二九八

肥料名	坪當收量	畦巾	株間	播種率
堆肥	二〇〇	二、〇尺	〇、五尺	二五%
硫酸	五	〇、五尺	〇、五尺	二五%
過石	七	〇、五尺	〇、五尺	二五%
塩加	一、五	〇、五尺	〇、五尺	二五%

肥料名	坪當收量	畦巾	株間	播種率
堆肥	二〇〇	二、〇尺	〇、五尺	二五%
硫酸	五	〇、五尺	〇、五尺	二五%
過石	七	〇、五尺	〇、五尺	二五%
塩加	一、五	〇、五尺	〇、五尺	二五%

### 初秋蠶掃立増強 實施要領

本年度蠶増産確保のため、金二萬圓を據出し新蠶の掃立増強を図る。1. 部落奨励金掃立數量計画該當部落に千圓以内 2. 個人奨励金 掃立十瓦に百圓 3. 抽せん券 掃立五瓦に付一枚

一等 七点 (三〇〇) 二、一〇〇  
 二等 五点 (一五〇) 二、二五〇  
 三等 五点 (八〇〇) 二、八〇〇

收 蠶 品 評 會

蠶増産競技會を左により實施する

出 品 採 点

一、上蠶生産數量 三五〇点  
 二、桑園反當上蠶數量 四〇〇点  
 三、晚秋蠶上蠶品位 (三〇包) 二五〇点

懸賞点数 五〇点 賞金 一九、八〇〇圓

優等 三 千圓 三、〇〇〇  
 一等 六 八百圓 四、八〇〇  
 二等 二 五百圓 六、〇〇〇  
 三等 三〇 二百圓 六、〇〇〇

### ◎ 大人の寸法

子供は大人を大きく思う。青年時代に自分の幻がでけると、大人がみんな小さく見える。馬鹿に見える。さていよいよ、自分が實際に仕事をして見ると、小さく感じた大人が、まただんだん大きくなる。

### 起。せ。赤。痢。撲。滅。の。運。動。を

傳染病の有無は文化のパロメータ。特に赤痢の流行は古來その時代相を最もよく反映している。本邦過去十年間の赤痢流行の推移を見るに昭和十四年(日支事變)昭和二十年(大平洋戦争)がグラフの山を作っている。而しその後社會の安定と公衆衛生の画期的發展に伴いすべて減少しているが、赤痢のみは増加し本年に入るや益々勢を増し四月末既に二千名を越え前記二十年より稍々凌いでいる有様で、このまゝでは五十年の新記録を作る憂いが多分にある。原因として醫學的に色々の事が考えられるが、第一戦後混亂と心の緩みからではないだろうか。赤痢は一寸した注意で予防できる病氣である。簡単な個人衛生を顧みない人が果して文化人といえようか。今、潮の如くおしよせる赤痢を食い止め得るなら、文化村として誠に輝かしい譽さと共に蠶が目立つて来た。肉眼で見えない赤痢菌も同様殖えていると考えるべきだ。

予防法の第一は、當局の對策に村民が不斷の協力こそ勝利の榮冠を得る鍵である。



四季の民俗 (その八)
みたま祭 砂樓生

甲、お盆というと何か淋しさ悲しさ...
乙、近頃お盆というとな盆が主に...

吉田改造内閣顔觸れ 七月四日認証式

Table listing cabinet members including Prime Minister Giichi Iwano, Foreign Minister Kijuro Shide, and others, with columns for name, party, and experience.

元來佛敎のお盆が入る前から、この季節には先祖のみたま祭があつたのです。その祭は先祖様に會える日、先祖様の加護の頂ける楽しい嬉しい日であつたらしく、所によつてはおめでたうと挨拶したり、「おめでたい日」と呼んだりしたが、生活が複雑になつて先祖に對する考え方が變つたのと、亡くなつたばかりの人の思い出が忘れられない人情の自然から、新盆中心の淋しく悲しい感じを濃くして來たのでしよう。迎え火を門口で焚くだけでなく、火をともして山にでかけて行き、山の口で背を向けてみたまを背負つて來る風習さえ残つてゐる處があるが、生きてゐる親に仕えろと全く同様にみたまをお慰めしようとする心がうかざわれて嬉しく感ずるね。

甲、お盆といえは盆踊りだが、盆踊りはみたまをお迎えして來る、或はみたまを中心に行う祭の行事から變つて來たものだ。何れにしても年に一度のみたま祭をくり返して行く中に、追憶は美しく清められてゆくと共に、私共の心の中にもそれによつて靜かな清らかな反省の時期を持つことゝなる。大切な事と思ふ。

郷土史料(その十五) 志賀又郎

氏名		就任年月日	退任年月日	回数	在職年数	備考	生年月日	逝去年月日
山本銀之助	明治39.9.9	明治43.9.2	(満)	1	4	大草字大正一	大正13.9.14	妻みね
杉浦 順助	大正2.5.15	大正2.5.5		1	2	深溝字中の島三	昭和12.7.1	長男 正
鈴木貞之助	大正2.5.15	大正2.5.15	(満)	1	4	慶應2.6.3	昭和23.3.8	二男 三
浅井竹三郎	大正2.5.15	大正2.5.15		1	3	大草字小道畑六	昭和18.1.11	三男 津治
山本銀之助	昭和3.2.10	昭和3.1.14		3	1	明治11.1.25	昭和3.12.21	長男 茂
川口兵重郎	昭和3.2.10	昭和3.1.14		1	1	深溝字黒田三		
千賀松太郎	昭和3.2.10	昭和3.1.14		1	1	大草字林九		
浅井竹三郎	昭和3.2.10	昭和3.1.14		3	1	職務管掌		
大久保賢	昭和3.2.10	昭和3.1.14		1	1	昭和4.6.10	昭和12.5.27	孫辰男
平松 倉吉	昭和3.2.10	昭和3.1.14		1	1	大草字山寺七		
木本正文	昭和3.2.10	昭和3.1.14		1	1	職務管掌		
夏目長四郎	昭和3.2.10	昭和3.1.14		1	1	明治8.7.11	昭和6.10.25	長男 晋三
鈴木兵助	昭和3.2.10	昭和3.1.14		1	1	久保田字柴崎		
鈴木兵助	昭和3.2.10	昭和3.1.14		1	1	職務管掌		
鈴木理憲	昭和3.2.10	昭和3.1.14		1	1	職務管掌		
鈴木貞之助	昭和3.2.10	昭和3.1.14		1	1	職務管掌		
鈴木兵助	昭和3.2.10	昭和3.1.14		1	1	職務管掌		
若林藤三郎	昭和3.2.10	昭和3.1.14		1	1	明治14.5.16		
伊野野之助	昭和3.2.10	昭和3.1.14		1	1	深溝字上池田九		

求人のお知らせ

時下就職難の折からここに明るい話題として日清紡績針崎工場の求人状況を御紹介致します。

綿紡織工場に従業員二千百余名中毎月二三十名の退職者の補充を近隣よりの就職を切望しているから希望者は岡崎職業安定所又は針崎工場雇用課へ申込みたい。

資格 満十五才十八才身体強健義務教育終了の女子

詮衡 安定所、工場で体格検査人物考査に合格したら採用される。

旅費 詮衡入社来場の實費支給

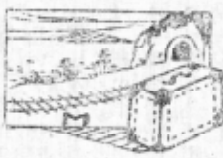
給與 初任給 四、二七〇圓

昇給 初年四回、以後年二回

昇格 會社内規により昇格の途あり

賞與 年二回(六月、十二月)

村の寫真愛好の皆さまへ



寫真は極めて多面性のある技術であり藝術であります。それはかつての有階級の道楽でなく今や文化生活にラジオ同様必要かくことのできない存在となりました。

それで一人よがりの作品でなくある程度第三者にも喜ばれ理解され得る普遍性のある寫真でなければならぬと存じます。その意味で初心者も熱練者も共に研究し勵ましあつて美しい寫真力強い作品を一枚でも多くとつて郷土藝術の向上に献げたものです。

幸い中日寫真協合理事の藤先生が指導の勞をおとり下さるので共々私研究したいと思われれば御賛同方私宅まで御報せ願えれば連絡いたします。

新光レヨン前  
中日寫真協會員 山本 學

南の國から

暑さが俄に加わりましたが皆様には益々御清祥に涉らせられ大慶に存じます。小生其の後御無沙汰ばかり申し上げてすみませんが相變らず無事に勤務致しておりますから他事乍ら

御放心下さい。南國の暑さは又格別で一層故郷が懐しく感じられます。

先は暑中御見舞まで

七月二十二日

香川縣普通寺町N.P.R第三施設  
大隊管理中隊通信班  
小野 悌 順

春日村公民館

### ●調和の力

公民館運営についての一考察

公民館運営審議会長 天野 勇

音楽のことも洋画のことも何の知識もないが、太い聲と細い聲と合唱する時、それぞれの持つ個性のまま、調子さえ合えばそれが微妙な音楽となるが、調子が合わねば雑音となつて聞く人に不快の感を與える。又多くの楽器が使われる場合、各々の持つ楽器の個性が一つにとけて相手の心を恍惚とさせる。洋画にしても色々の色が次から次へと塗られていくが、ついに實物と變らない色が現れるばかりでなく、そこに生命さえ感ずる名画が生み出されてくる。實に崇高な調和の世界である。

公民館の運営に最もその中心となるものは調和の精神だと思ふ。調和の精神は個性を曲げることでもない人権の尊厳を傷つけることでもないその各人が持つ個性と個性がうまく理解され連絡されて滑らかなつて行くことだと思ふ。

調和の力は二人寄れば二人力、三人寄れば三人力というようなものではない。三人よれば十人力、五人寄れば二十人力となるという力であるそれは一寸へんに聞えるが、逆を考えるとよくわかる。人を減らすと能

率の上ることがある。「あの人が居らぬと能率が上がる」ということがある。それは調和を破る人であるからだ。

公民館の使命は種々の団体や色々の會と對立するものでもないが又併立するものでもない。私共の生活や各団体各會の中にとけこんでその生活や団体に生命を與えていくものであると同時に、互に連絡と理解とがもてるように運営せらるべきで、地下水がよく萬物を生かすの如き役割である。

然しお互に道理はわかつているがその實行は容易なことではない。私共が自分の村を、國を住みよい働き甲斐のあるものに育て上げたいという公民精神は、すべての人の心に燃えていて、その共通した願いは持つていてもそれが各人各団体それぞれにばらばらになつていては大きな力が出て來ない。人と人との間に団体と団体との間に連絡と理解とを持つて御苦勞様と相手の努力を拜んで行く處に調和の力が出てお互の研究と向上が續けられていく譯だ。かゝる意味で周到な討論會が重要視されてよいだらうし、讀者の時を得る工夫も大切である。その上常に新しい將來性をもつ青年精神を一層尊重していくべきだと思ふ。

### 昭和二十六年年度國民たすけあい共同募金運動について(承前)

伊野鯉之助

#### 五、募金の方法

1. 募金委員会
2. 事前公表 事後公表
3. 募金開始前と配分決定後一月以内

とに目標額又は実績額と配分計画の内容及びその基準を詳細公表すると共に中央委員会に通報する。

#### 3. 奉仕者の啓發

奉仕者を廣報活動の重点的對照とし、手引書配付、社會事業の見學奉仕活動の研究會等の開催は望ましい。

#### 4. 學徒の啓發

學徒に共同募金の學習指導を行うよう教育機關の協力を要請し資料の提供等により便宜を図る。

#### (2) 目標額の設定と配分

##### 1. 寄附金の取扱

受配者に對し共同募金機關を經由しての寄附であるから地方委員會は寄附者代表でその信託で執行する自覺のもとに管理配分を行わなければならない。

##### 2. 募金目標額の設定

募金目標額は前年度募金締切後收

入を加え年内に於て募金必要金額であつて募金開始三ヶ月前諸費の合計額を基礎とし、寄附者の寄附配分と前年度繰越金を參酌設定する。

- イ、立案配分計画の配分予定總額
- ロ、募金活動に直接必要な經費
- ハ、地方委員会運営管理の必要經費
- ニ、事務担当者養成と現任訓練に要する經費
- ホ、法人基本金

3. 配分の年度  
配分金は原則として受配者來年度事業經費に充當する。

4. 配分の對象  
地域内社會福祉を目的とする民營事業で受配希望し且受配にふさわしいものを對象とする。

但し左の事業は對象としない。  
イ、構成員の互助共済のみの目的  
ロ、政治宗教組合等運動の目的  
ハ、収入金で經營できる事業  
ニ、基礎管理に乏しいもの  
ホ、營利目的の事業



### 戦後の俳句

平松 萩雨

戦後社会の一大變革と同時に俳句というものも御多分に洩れずよかれ悪しかれ變つて來た。變つたというより一つの型から抜け出したと言つた方が適當であるかも知れない。戦前までは俳句を作る人と言えば大体その範圍が限られており、亦一般人もそう思つていた。ところが戦後の俳句界というものはその職業階級を問はず誰でも作るようになったということ、年齢的に言つて若年層に非常に多いということであり亦その格調とか音律も何ものにも束縛されない自由な意志のまま表現していることであるこれには色々な理由があるうけれども大きく分けて

一、戦時中種々な職場団体が志操掲揚運動のいつかんとして教養課題に取り上げた。

一、戦後荒廢した人道や大きな衝撃によつて虚脱状態の人々に特に若い人達が自慰逃避を俳句に求めた。

一、文學、藝術的な基礎知識又は素養を持つた者が、已の文學、藝術的

な價值を知ろうとして本格的な勉強をはじめた。

一、戦前の古い經驗者らが時代の流れと共に指導的立場、或はその他の理由で再び俳句に初めた。

これらは單に俳句だけでなく、短文學系の全般を通じて言えることである。これに加えて用紙の統制廢止による雑誌の亂刊、自稱宗匠の亂立など雨後の竹の子の様相を呈した結果第二藝術とまで言われるに至つてしまつた。しかしこの第二藝術の旋風後年を経るにしたがつて戦後の俳句界もその主張する處は違つても或る一つの方向を見出して進んでいるように思える。

俳句には昔からの定形派即ち五音、七音、五音からなる十七音律に季(四季の變遷によつて生ずる天文、地理、人事、植物、動物等を詠み込む)を尊重するものと、明治以後の自由律即ち十七音や季にはこうでいせす己の發情のまま二十音でも二十五音にでもして一句に表すもの、二派からなつていた。ところが戦後亦一つの傾向の一派、強いて言えれば新興派なるものが誕生した。これは勤勞階級の間に於て最も多く詠まれ昭和二十一年から二十四、五年の間、なかでも特に二、一、スト及び赤色道放當時は最も盛んであつた。現在こ

これらの傾向も生活の安定と共に今迄にはなかつた一つの新しい道へ進んでゐるようである。であるからこの新興俳句は工場や団体を主軸として起つた勤勞階級の苦しい生活のあえぎを詩情にたくしたものである。活句といつたものである。

### 人口動態 (六月)

出生	二二二	男	一一一	女	一一一
死亡	七	男	四	女	三
死産	五	男	一	女	四
婚姻	一七	男	八	女	九
離婚	一	男	一	女	一
合計	361	172	59	24	81

### 自殺の方法

自殺の方法	日本		米國	
	實數	人口10万對	實數	人口10万對
懸り	885	1.1	0.1	
下	104	0.1	0.4	
刺	368	0.5	0.5	
爆	61	0.1	4.6	
水	2,015	2.6	0.5	
絞	9,613	8.5	2.6	
砒素及びその結合体	15	0.0	0.1	
バルビタル酸及びその結合体	13	0.0	0.4	
クレゾール及びその結合体	20	0.0	0.0	
水銀及びその結合体	24	0.0	0.1	
ホミカ及びストクヒニル	3	0.0	0.1	
石炭酸及びフェノール	9	0.0	0.1	
鎮痛劑及び麻酔劑	106	0.1		
燐	271	0.3		
酸	855	1.1	0.5	
他の毒物及びガ	516	0.7		
その他	363	0.5	0.1	

### 自殺コンクール

本多

日本の自殺は戦争前までは年々増加してゐたが開戦後漸次減少し昭和十七年には最低記録を出したが終戦後又増加しつゝある。

その方法は米國に比較し首ツリや自殺が多いのは野暮クサイが馬鹿は自殺しないと云うから、我々愛すべき同胞がペカでない証據と云えよう。季節的には五月、七月に多く、地域的には滋賀、和歌山、新潟、京都、岐阜縣に多く九州、關東は少い。さてこゝに日本、米國の人口十萬人に對する自殺の方法、パーセント及びその實數を表にして見よう。

短歌 雑詠

杉浦亮一選

柿若葉

吾が愛しみに隔れて

丹羽昭吉

○つやごもる柿の若葉の香にたちて歩むことなきわびしさに隔る

○匂ひたつ柿の葉葉の一葉さへ手にするすべなく季うつりゆく

○いかにして若葉のうちに散りたるかこれほどまでにつやもてる葉の

○明るさをなべてもちたる柿若葉平安ありて凝視むる日もあり

○艶立てる葉群が上に陽の動き春の過ぎ行くを時の間見たり

(選者註) 作者は年來起立歩行不能の境涯に澄心修行の青年であります。

梅雨あけの頃

和田ひろ子

○夕餉には今宵もうれし冷やし麵晝のつかれをいまは忘れぬ

○打ちつづくばい雨も今宵霽れければ昔なつかし浴衣とり出す

橋 照山

○長雨の今朝晴れ上り清々し今更ながら陽のめくみ思う  
ペタル踏み田道通れば長雨は西風の畑萎枯れてあり

足立竹友

○去年の夏單衣のちぢみしみし今日取りいだし水洗ひとは  
○長雨の晴れてはたけに草をとるわが手の跡の大きいなるかも

杉浦亮一

○早苗田の株ひらきたつ水ぎわにきはひしるけし梅雨あけの陽ざし  
○梅雨あがり二日三日へぬ烟の草をひとわりとり今宵やすらか

あとがき

○選挙から間もなく農繁期に入り二回ほど休みましたので歌稿が選者の手もとにたまつていますが、後は滞ることなく載せてゆくとつもりですからつきつきと原稿をお送り下さい。

○歌稿の送り先は、大草杉浦亮一宛  
×切は毎月十五日、當分雑詠を募集する。

○當分報歌壇の人々で歌の會を催したいという意向がありますので、日時会場等につき御希望がございましたらお知らせ下さい。お盆から秋祭りまでの間にぜひ實現させたいものです。

◎夕立

すさまじくふる夕立の空晴れて  
一ときわ榮ゆる裏の京峯

夕立の洗ひ清めし山の端に  
我がもの顔の月の涼しさ

夕立ちは大草山をとく過ぎて  
照る日を洗う坂の下道

翠影軒

月



ゆく雲

八月抄 ゆく雲吟社

陶風鈴無慾の老父となられけり

莞爾と床の布袋や夏座敷

夏山を今日程清く見しことなし

初蚊帳に何か落付たる思ひ

今年亦尋ね來にける燕かな

燕尾閃視覚を奪ふ白き腹

浴衣縫ふ娘のほゝゑみに満足す

白い腹見せて親まで燕の子

梅雨長し野の雑草の階をなす

ベン先は眞赤な苺交きさしぬ

緑蔭を出て緑より濃き日傘

緑蔭へこゝろ一途の郵便夫

緑蔭を出でし子の蟬鳴かせつ

男という意識緑蔭に憩う間も

緑蔭の静けさにある繪師獨り

つばくらの母情に少しミシン

緑蔭に骨張つた車夫休みあり

白百合や父のやましさを見のがさず

子を案内の親の美わし燕かな

梅雨明けの窓に向ひてよそほひす

試歩をイつこのわづかなる緑蔭に

梅雨冷えの病褥へ猫久しぶり

次號課題晝寝、冷奴、雑計六句

八月末日嚴守(大草農協山本泉宛)

經營の手引

商人訓 森村市左工門直話

1. 店主自ら店員の模範となれ
2. 不公平と秘密は商人の禁物
3. 品切物のないよう心がけよ
4. 資本一ぱいに手を擴げては危険
5. 明快に決断を下す習慣を養え
6. 買手ばかり大切に商人はだめ
7. 客を欺く事は一番いけない
8. 自分一人占めの儲けを考ふるな
9. 贈答は絶対に排斥すべきである
10. 殊に賣手からは紙一枚も貰うな
11. 取引については嚴然たるべきだ
12. 視箱の下に入つていた金を返す
13. 一にも二にもよい店風を作る
14. 予ての用意が役に立つのである
15. 成り行きを支配する力の源
16. 機會は我々の方で作るべきだ
17. 世界を相手に盛んに商賣させよ
18. 成金熱は戒しむべき事の第一

心の笛

心うつくしく清らかなれば  
心の笛はおのずと  
美しくすんだ音色をはなつ  
心の笛は  
そのひとの心そのまゝの  
美しい調べをかきだす  
それは相手の心の琴線にふれ  
さわやかに鳴りひびく